



2022-2023 年度
7月号
NO. 394

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

**キックオフ
Change! 2022
P R**

国際会長：K・C・サミュエル(インド)「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
アジア太平洋地域会長：チェン・チン・ミン(台湾)「新しい未来と共に、エレガントに変化を」
東日本区理事：佐藤重良(甲府 21) 主題:「未来に向けて今すぐ行動しよう」
関東東部部長：工藤大丈(東京 〆 付付) 主題:「新規技術を縦横に駆使し、効率を重んじる」
東京ひがしクラブ会長：千代一郎 主題「楽しさをベースに、持続可能なワイズ!!!」

7月例会(総会)

と き 2022年7月14日(木)
PM6:30~8:30
ところ 東陽町センターYMCA ホール
受付：須田哲史
司会：金丸満雄

★プログラム

開会点鐘
ワイズソング/ワイズの信条
会長挨拶 会長 千代一郎
食前の感謝
今月の誕生日・結婚記念日
総会議事
・2021-2022 年度活動報告・会計報告
・2022-2023 年度活動方針・予算案
スマイル/各種報告
閉会点鐘 会長 千代一郎

★今月の誕生日

山口 隆メン(8日)
千代澄子メット(6日)



楽しさをベースに 持続可能なワイズ!!!

千代一郎



6年前の佐渡ヶ島テント合宿に飯田さんから誘ってもらったのがご縁で、その翌年の2017年5月例会において、鮎澤さん(当時会長)の司式のもと入会以来、須田さん(当時副会長)の歓迎の言葉(楽しいワイズライフを送ってください。)通り、この5年間本当に色々な活動にいつも楽しく参加することができました。クラブの皆様には心より感謝しています。このようにまだ経験不足の小生ではありますが、このたび与えられました会長としての役割を、これから1年間微力ながら一生懸命果たしていく覚悟ですので、よろしくお願い致します。

コロナ禍やウクライナ情勢等の厳しい状況の中ではありますが、須田さん(前々会長)及び高野さん(直前会長)の主題「持続可能な未来を創ろう」を継承致します。SDGSは、現在最も重要な世界的潮流であり、満4年経過した「下町こどもダイニング」もSDGSにしっかりと繋がっています。そして、ひがしクラブの基盤である「楽しさ」をベースに、具体的活動(ピースウォーク、フードパントリー、災害スタディ、子どもクリスマス等)を更に強力に推進していきたいと思っております。皆さん!どうぞよろしくお願い致します。

✪ 今月の聖句 ✪

『わたしは、彼らに永遠の命を与える。彼らはいつまでも滅びることがなく、また、彼らをわたしの手から奪い去る者はない』

—ヨハネによる福音書 10章 28節—

6月例会

出席者 10名 ビジター 名
会員出席数 9名 ゲスト 1名
在籍数 12名
(広義会員2名)

ひがし会員出席率 90%

スマイル

6月 10,000 円

2021-2022 年度
累計 47,000 円

2022-2023 年度役員

会長 千代一郎
副会長 金丸満雄
書記 金丸満雄
会計 須田哲史
担当主事 沖 利柯

6月引継例会

6月9日、東陽町センターYMCAホールに於いて、十分なコロナ感染防止で6月例会(納会&引継)が行われた。定刻の18時30分に高野会長の点鐘で開会。会長挨拶お祈りのあと食事となった。ZOOM参加の竹内さん野本さん関登志子さんも加わり、一年を振り返って、皆さんより一言メッセージが行われた。「最愛のメンバーを失った悲しみ」「コロナの収束が見えないもどかしさ」「ひがしのチームワーク」「健康であることの喜び」「ひがしクラブの原点はYMCAをサポートすること」「新たなワイズ活動の協働」等々、一年を振り返りそれぞれ思いが語られ、ひがしクラブの一年が終了した。

続いて須田直前会長の立会いで、高野会長より千代次期会長に会長バッチが引継がれ、そしてグータッチで会長の引継が行われた。高野会長、病にも屈せず一年間ご苦労様でした。千代会長、コロナが収まらない中のスタートそして会長初体験となりますが、よろしくお願い致します。



+++++ 京都ウエストクラブ引継例会

千代一郎

6月23日(土)、京都ウエストクラブ引継例会に金丸、竹内、千代(初参加)が出席した。本例会は18時より東急ホテルで開会。福田会長の挨拶、各委員長報告のあと、澤田次期会長への引継式がキャンセルサービスの中、厳粛に行われました。引き続き、三役の引継および各委員長の紹介が行われた。



「主題：自給自給」「副題：素直なところで荒野を耕す」がモットーであった福田会長のフィーチャリングタイムとして、一年間の活動と感謝が楽しいサプライズの連続で紹介された。クラブ表彰のあと、DBCクラブとして、恒例の野本ブランドのバッグとウエストの皆さんへのお土産を渡すとともに、両クラブの絆がこれからも益々強くなることを祈念する旨を挨拶した。このような心温まる雰囲気の中、引継例会は閉会となった。小生(千代)にとっては、本当に心から感激で一杯でした。

+++++
飯田歳樹さんを偲ぶ会

+++++ 飯田歳樹さんを偲ぶ会

6月25日(土)、昨年暮れに逝去された飯田歳樹さんを偲ぶ会が、東陽町センターYMCAホールに於いてひがしクラブ主催で行った。まだ収まらないコロナ禍の中感染防止を施し、15時高野会長の挨拶で開会した。お祈り・黙祷のあと、思い出のシーンを映像で偲び、親族を代表して長女の福田江里奈さんより挨拶をいただき、一人一人カーネーションが渡され献花が行われた。コロナ感染防止のため、飲食懇談は取りやめ、飯田家より故人の好物「うさぎ屋のどらやき」が配られた。本来なら個人が好んだ日本酒を飲みながらなの

だが、ペットボトルのお茶で我慢。故人の思い出パートIIとして、消防団・スキューバー・旅行・ワイズの思い出映像を流し、そのゆかりある方々から故人とのエピソードを語っていただき、あの笑顔笑い声を思い出したひと時であった。多くの人から愛され、あの親しみある笑顔、引き付ける人柄、何時までも我々のこころに残ります。

この日、消防団・スキューバクラブ・近隣のワイズメン・京都ウエスト森田メン市橋メン・ボランティア仲間など71名の方々が集い、故人飯田歳樹さんを偲んだ。



+++++ YMCAコーナー

担当主事 沖 利柯

▼夏季キャンプ・スクール

6月8日より、夏季キャンプ・スクールの参加受付を開始しました。6つの宿泊キャンプはどれも人気が高く、ほとんどが即日定員一杯となりました。他にデイキャンプ、水泳、語学、音楽などの夏季スクールの募集も順調に進んでいます。

▼東京・フロストバレーYMCA

パートナーシッププログラム

現地の夏キャンプに3年ぶりに日本からリーダーを派遣しました。選考された7名のリーダーが6月16日に日本を出発し、約2カ月間、在米日本人の子どもたちを対象としたキャンプのカウンセラー(リーダー)をつとめます。

▼役員選任

6月17日に定時評議員会が開催され、役員を選任が行われました。代表理事の菅谷淳氏が重任し、小町正人監事に替わり伊藤幾夫氏(元評議員)が同日をもって新監事に就任しました。

▼第25回会員芸術祭

今年はオンラインで開催することになり、YMCAの会員や関係者、子どもたちに呼びかけ、絵画、書画、写真、陶芸などの出展作品を募集しています。8月中旬から約1カ月にわたり東京YMCAホームページ上に作品の画像を掲載する予定です。

▼東陽町コミュニティセンターイベント

①第8回ミニ平和展「サダコと折り鶴」

8月1日(月)13:00~9日(火)15:00

*申込不要

②2022災害スタディ(防災街歩き)

9月3日(土)14:00~16:00

*飯田さんの遺志を継いで…。

③認知症サポーター養成講座(認知症理解と対応方法) 申込締切:8月末日

9月29日(木)15:00~16:30

*いずれも参加費無料・東陽町で開催します。ご参加いただける方は沖までお申し込みください。ご参加お待ちしております！